

病院機能評価 機能種別版評価項目 3rdG:Ver.2.0 解説集の訂正

内容を訂正するとともに、ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

一般病院 3

頁	箇所	訂正前	訂正後	訂正日
50	2.1.2 診療記録を適切に記載している	●適時の記載 診療の経過記録は患者の状況に応じて随時行われていることが必要で、<u>少なくとも毎日記載</u>されていることが原則である。	●適時の記載 診療の経過記録は患者の状況に応じて随時行われていることが必要で、<u>毎日記載</u>されていることが原則であり、休日においても医療者が経過観察を行い適時に診療録や看護記録などの診療記録を記載する必要がある。	2019 年 4 月 5 日
101	2.2.11 輸血・血液製剤投与を確実・安全に実施している	●輸血療法後の感染症検査 輸血後感染症や生物由来製品感染等救済制度について、患者・家族に説明されているとともに、輸血前後の感染症検査が実施されていることが望ましい。輸血後感染症の検査は、転院などもあって完全実施は難しい面があるが、<u>極力実施</u>されるような仕組みが用意されていることが重要である。	●輸血療法後の感染症検査 輸血後感染症や生物由来製品感染等救済制度について、患者・家族に説明されているとともに、<u>医師が感染リスクを考慮し、必要と認める場合には、輸血前後の感染症検査が実施</u>されていることが<u>求められる</u>。輸血後感染症の検査は、転院などもあって完全実施は難しい面があるが、<u>必要な場合に実施</u>されるような仕組みが用意されていることが重要である。	2019 年 4 月 5 日

以 上